

製品名: LAT ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85746**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 28 kDa; Observed MW: 36 kDa

抗原情報

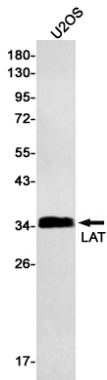
遺伝子名	LAT
別名	LAT; Linker for activation of T-cells family member 1; 36 kDa phospho-tyrosine adapter protein; pp36; p36-38
遺伝子 ID	27040.0
SwissProt ID	O43561
免疫原	ヒト LAT の合成ペプチド

背景

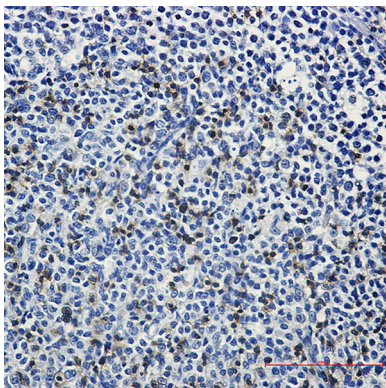
成熟T細胞およびその発達過程において、TCR (T細胞抗原受容体) およびプレ TCR を介したシグナル伝達に必須です。ナチュラルキラー細胞における FCGR3 (低親和性免疫グロブリン γ Fc 領域受容体 III) を介したシグナル伝達、およびマスト細胞における FCER1 (高親和性免疫グロブリン ϵ 受容体) を介したシグナル伝達に関与します。これらの受容体および関連キナーゼの活性化は、PLCG1、GRB2、GRAP2 などのシグナル伝達分子のリクルートメントを介して、細胞内カルシウム貯蔵の動員、PKC 活性化、MAPK 活性化、または細胞骨格再編成などの遠位細胞内イベントと結合します。

研究分野

画像データ



LAT 抗体を使用した U2OS 溶解物中の LAT のウェスタン ブロット分析。



LAT 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。